

はじめに 003

第1章 「よく生きる」ってどういうこと？ 「ソクラテス」 008

第2章 存在とは何か 「プラトンとアリストテレス」 024

第3章 心とは何か 「デカルトと物心二元論」 041

第4章 因果関係とは何か 「ヒューム」 056

第5章 なぜ嘘をついてはいけないのか？ 「カントとベンサム」 072

第6章 自由意志は存在するか 「エラスムス、ルター、スピノザ、カント」 087

第7章 やりたい放題が自由なのか？ 「ヘーゲルの自由論」 103

第8章 真の民主主義とは？ 「ルソー」 118

第9章 マルクスの考えたこと「マルクス」

130

第10章 自分を肯定する「ニーチェ」

145

第11章 世界にひとりだけの私「ハイデッガーとサルトル」

159

第12章 正しさって何だろう？「プラグマティズム」

174

第13章 理性の宿命と可能性「フランクフルト学派」

188

第14章 哲学の主題は言語である「ウィトゲンシュタイン」

205

第15章 真理とは権力である「フーコー」

224

おわりに

238